

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

編集後記

◆新年明けましておめでとうございます。新年号として「胸部の最新画像情報 2024」をお届けしますが、本誌を手にとった人は少し驚いたかもしれません。なんと「臨床放射線」は今月号から bimonthly の雑誌となりました。すなわち、この新年号は 1 月・2 月号なのです。年間の投稿論文の受け入れ数は今までと同等と考えているので、各雑誌のページ数は 150~160 ページを予定しております。本号には総説 6 論文、診療 2 論文、胸部症例 7 報告、一般症例 3 報告、そして最後に今月の症例です。どれも珠玉の内容ですので、じっくり味わってください。

◆やっと丸 4 年の pandemic を乗り越え平常化の年を迎えたと思われます。しかしコロナ禍を survival した我らにとって、pandemic 後の学会や研究会、勉強会のあり方は、pandemic 前には単純に戻れない状況にあります。すなわち web 会議が一般化し、その手軽さ、利便性、経済性に多くの利用者が気づき、以前より勉強の機会が増えたと思われますが、一方 on-site で実施される face-to-face の集会の意義が改めて問われる事態となってきたと思います。特に規模の小さい研究会や勉強会では、web との hybrid になっているならともかく、on-site のみの場合は、かなりユニークで魅力がないと参加者数を確保できないといった事態が各領域で生じています。

◆長く臨床と学術に関わってきた医師にとっては、顔をつき合わせて自由に意見を交える研究会や勉強会は、鉄人や巨匠の思考過程を垣間見ることができる貴重な機会でしたが、web 会議ではなかなか参加者の顔色やつぶやきを捉えることができず、行間を読むようなユニークな意見が出にくく拾い上げにくいのです。でも web 会議と on-site の hybrid で開催するのはそれなりに費用もかかり、主催者側にとってはハードルが高くなります。情報発信側には厳しい時代かもしれません。

◆一方、本誌のような文字媒体による情報発信はレガシーかもしれませんが、その分 pandemic を乗り越えてもその価値は受け継がれているように思います。今後も、bimonthly となった「臨床放射線」をご愛読ください。
栗原泰之

「臨床放射線」第 69 巻 第 1 号

2024 年 1 月 10 日発行
隔月 (1, 3, 5, 7, 9, 11 月) 10 日発行

定価 3,960 円 (本体 3,600 円 + 税 10%)

年間購読料金
定価 23,760 円 (本体 21,600 円 + 税 10%)
[年間 6 冊の誌代]
年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社
発行者 福村直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
TEL 03 (3811) 7165 編集部直通
TEL 03 (3811) 7184 営業部直通
FAX 03 (3813) 0288
ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp
振替口座 00130-1-191269
印刷所 三報社印刷株式会社
広告申込先 文京メディカル TEL 03 (3817) 8036

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。